



## 施設長挨拶 ～新年度を迎えて～

4月は桜をはじめ色とりどりの花々が街を彩り、陽気も暖かくやわらかな春風を頬に感じ心華やぐ季節ですがみなさまいかがお過ごしでしょうか？私は例年より多くしゃみや目のかゆさに花粉の多さを感じているところです。

自身がなびい施設長を拝命して、また同時にコロナ禍での3回目の春を迎えることとなりました。自分の役割が変わったことはもちろん、日常的な感染予防が必要な中で今までと変えなければいけないことも多く、あっという間のような長かったような不思議な感覚でこの春を迎えました。3月中旬には福島県沖を震源地とした大きな地震があり電力供給がひっ迫したり、ウクライナ-ロシア情勢ではなかなか停戦合意に到らず石油や小麦の値段が上がり我々の生活にも直接的な影響が出て来たり、コロナもまだまだ気を付けなければいけないし…と不安になるような事が多く、なびいでみなさんのお話を伺っているところでした心穏やかでいられない情勢が私たちの心をざわつかせているのだと感じているところです。不安や悲しみは人と分け合って半分に、喜びは人と分かち合って2倍に…そんなことを思いながら日々過ごしております。

話は戻りますが、新たな春を無事に迎えられるのも、ひとえにメンバーさんやそのご家族を始め関係各所の方々のお力添えを頂いているおかげです。この場を借りて改めて御礼申し上げます。残念ながら引き続き感染防止には気を付けなければいけない状況ですが、みなさまになびいを楽しい・安心・助かる・行きたい・相談したいと思って頂けるよう、工夫と努力を惜しまず取り組んで行きたいと思っています。今後ともお力添え頂きますようお願い申し上げます。

そして春は出会いと別れの季節でもあります。今年度の『なびいの春』は以下のような体制で迎えることとなりました。

### 2022年度 なびい職員体制

異動時期 等		勤務曜日	
施設長	奥迫 真里恵	櫻井 博	水木金
副施設長	山地 圭子 8/1～	田村 篤子	火水木金
	篠原 洋子 10/1～	工藤 由美子	火木
	週3日(曜日調整中)	國枝 久仁子	火水

### なびいから異動する職員

異動時期		異動先
荒木 浩	7/31 までなびい	8/1～オープナー
森園 寿世	9/30 までなびい	10/1～棕櫚亭Ⅰ
小山 みのり	3/31 まで(金) なびい	4/1～ピアス

残念ながら、2019年度からなびいで活躍して下さっていた荒木さん、森園さんの両名と、金曜



日になびいに来てくださっていた小山さんが異動することとなりました。それぞれが担当しているメンバーさんには新しい担当のご紹介や引き継ぎ面談等について、順次個別にお声かけ・ご連絡させていただきます。今年度は異動の時期が変則となっており、引き継ぎ時期が多少前後する場合があります。ご質問、ご不安等ございましたらなびいまでご連絡ください。

そして、お別れは悲しいですが、なびいをさらにパワーアップすべくお二人の方が異動してきてくださいます。

まずは、現在オープナー施設長をしている山地さんが、なびいの副施設長としていらっしゃいます。棕櫚亭では荒木さんとならぶ大ベテランの方ですので、すでにご存知の方もいらっしゃるのではないかと思います。なびいには8月から勤務して下さる予定です。さらに10月からはもう一人、棕櫚亭Ⅰで施設長をしている篠原さんが週3日なびいに来てくださることになりました。篠原さんは以前にもなびいにいらしたことがあるので、こちらもお存知の方がいらっしゃるかと思います。お二人の異動時期のなびい通信に恒例のごあいさつ&自己紹介コーナーを設ける予定ですので楽しみに！

(施設長 奥迫真里恵)



## 4月から一部プログラムの曜日が変更になります

- 和食の会 → 第2・第4水曜日 11:00～13:00
- ウォーキング → 第2・第4木曜日 14:00～15:00
- ヨガ教室 → 月2回に増えます 木曜日 13:30～金曜日 13:00～  
各1回の予定

●各プログラムをご利用の方はこの通信1面4面の予定表をご確認ください●



## 自分の時間をどう楽しむか ～わたしのお気に入り～



『三体』シリーズ全五冊 (早川書房) 劉慈欣 (リッジーン) 著

ここで紹介させていただくのは、私にとって2021年度を象徴する一冊です。ネタバレにならない範囲であらすじを述べると、文化大革命で人類に失望した物理学者葉文潔 (イエウンジェ) が行ったある行為によって、人類は史上初となる地球外知的生命体による侵略危機 (三体危機) に直面します。それを阻止すべく任命された面壁者 (ウォールフェイサー) 達と一員である (チェンシン)、同時進行する階梯計画 (ラダープロジェクト) の程心を軸に宇宙規模で展開されるエンタメ SF 作品です。なんとアジア初となるヒューゴー賞に輝くなど枚挙に暇がない作品です。鮮やかな情景描写も素晴らしい。文化大革命時の社会が私の出身中学校に重なる。「文化大革命は三体で学べる」「知らない恥をかく世界の大問題」池上彰氏。読後に沸いてきたのは達成感より喪失感でした。

執筆者 (ソードホルダー) 長田